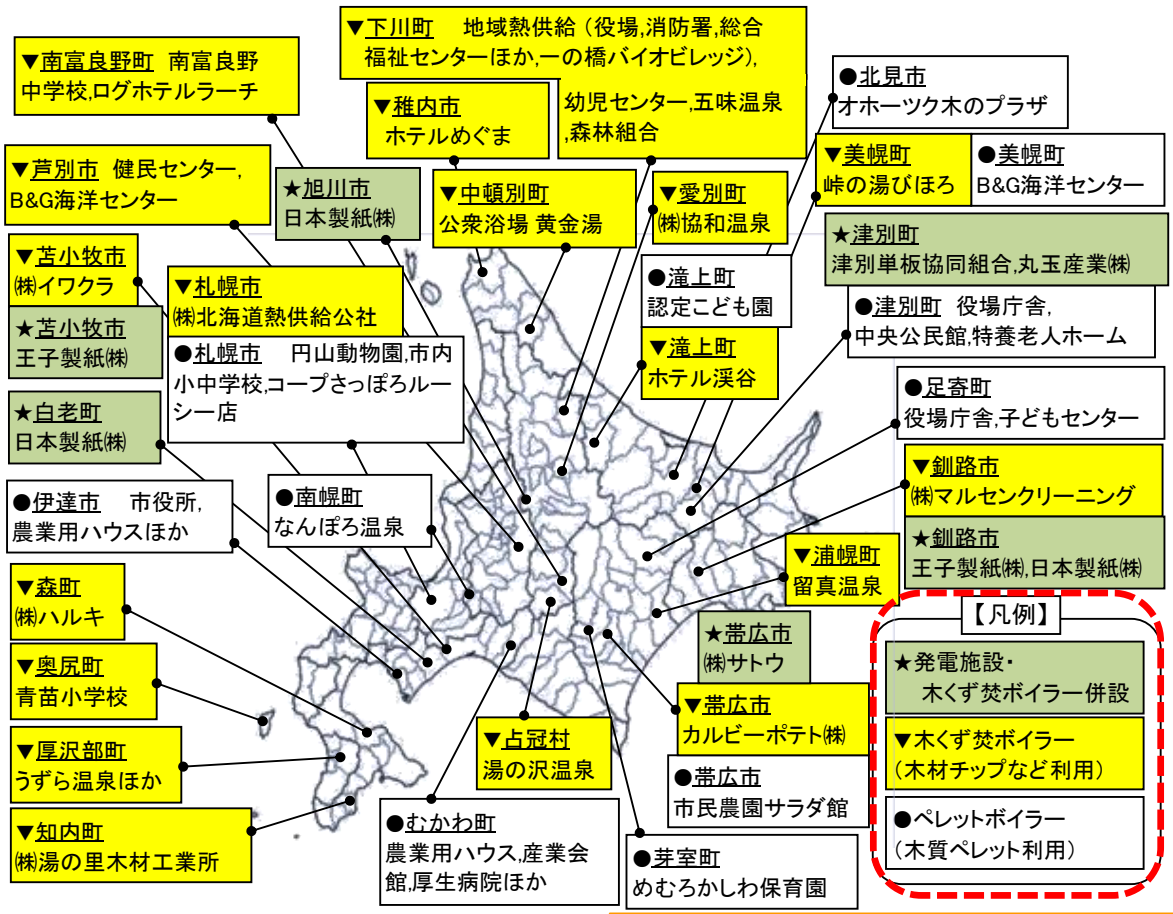
行政の窓

北海道の木質バイオマスエネルギーの利用状況

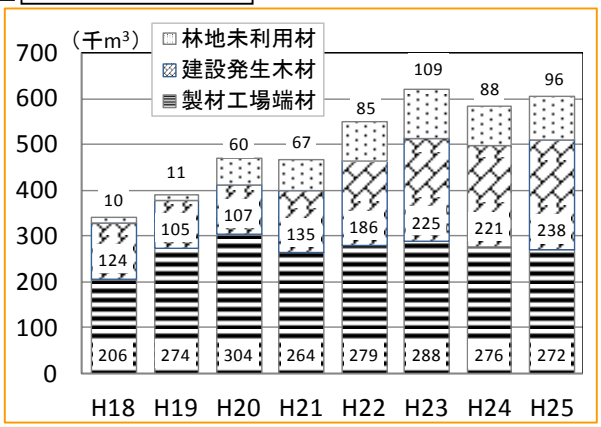
《北海道の木質バイオマスエネルギー利用促進の取組》

森林整備に伴い発生した林地未利用材や、製材工場の端材などを、木質バイオマスエネルギーとして有効に活用することは、森林整備の推進につながるとともに、地球温暖化の防止にも貢献する重要な取組であることから、道では、これまで木質バイオマス関連施設の整備や木質バイオマスの安定供給体制づくりなどに支援を行ってきました。再生可能エネルギー固定価格買取制度による大規模発電での利用も計画されており、今後も化石燃料に替わるエネルギーとして木質バイオマスを有効に活用する取組に支援していきます。

《道内の主な木質バイオマスエネルギー利用施設》



木質バイオマスエネルギーの利用施設の現況
（平成25年度）
発電施設：25基
木くず焚ボイラー：108基
ペレットボイラー：115基
ペレットストーブ：2,448台
（木くず焚ボイラー数には、発電施設利用のためのボイラーを含む）



（水産林務部　林務局林業木材課
需要推進グループ）